

新書

●吉良智子著『女性画家たちの戦争』
第2次大戦中、長谷川春子の呼びかけで延べ49人が、働く女性を描いた「大東亜戦皇国婦女皆働之図」(1944年)。この女流美術家奉公隊による作品をはじめ、女性画家たちも戦争と向き合っていた。戦前の画壇での位置や、戦中における社会との向き合い方とその作品など、敗戦へと至る女性画家たちの足跡をジェンダー視点から描く。
(平凡社新書・907円)